

文化・経済フォーラム滋賀

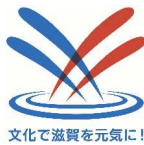
文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーす第15号(2012年5月17日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局(大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

TEL 077(522)8369 FAX 077(522)9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋



文化で滋賀を元気に!

文化deけいざい 経済deぶんか
ニュース&にゅーす 第15号

そのうち、そのうち...と思っているうち、とうとう半年ぶりになってしまいました。いや、いけません。頭に手を乗せ、ゴメンチャイです。文化・経済フォーラム滋賀は今年2月11日、琵琶湖ホテルで総会開いて、2年目に入っています。あの日の総会を思い返しながらメルマガ発信です。平成23年の事業、決算、平成24年の事業計画、予算案承認頂き、大原美術館の大原謙一郎理事長の講演、そして初年度のメイン事業である「文化で滋賀を元気に!賞」の表彰でした。第2部では嘉田知事にも加わってもらい、盛り上がりました。今ごろ、お礼を言うのも変ですが、会員の皆様ありがとうございました。

さて、さて...であります。南京玉簾ではありません。今、2年目の事務局活動がどうなっているか報告しなければなりません。実はあの総会から2度、会議を行いました。最初は総会の反省と新年度の方向性、2度目は総会で提言した文化ビジネスの推進策など、具体的な事業についてです。事務局は今年も県文化振興事業団が担当します。事業団の4月人事で、担当になった藤野ひろ美さんが、びわ湖ホールで開いた役員会のやりとりを以下のとおりまとめてくれました。これで、大体の流れがわかると思いますので、お目通し下さい。

文化・経済フォーラム滋賀役員会(5月10日・びわ湖ホール会議室)

<出席者> 木村代表幹事、石丸幹事、井上幹事、岸野幹事、中村幹事、馬場幹事、南幹事、中川監事、平和堂財団・原田常務理事(夏原副代表幹事代理) スタッフ しが経文・田中、びわ湖ホール・浅野、有田、成安造形大学・加藤、石川、県文化振興課・竹内、事務局・竹村、藤野

<議題> 平成24年度事業について

その1) 「文化ビジネス塾」の開催 井上幹事を塾長に県内各地域で実施する。内容はびわ湖ホール、成安造形大学のWGを中心に検討、次回委員会で具体案を出す。

その2) 「文化経済サロン」の開催 県公立文化施設協議会、淡海ネットワークセンター、県文化振興事業団[ビジネスカフェ]と共催で実施する。文化・経済フォーラムとし

でも独自に1回は行う。連絡調整は事務局。

その3) 近江屋シンポジウムの開催 開催時期は9月を予定、「2012 文化で滋賀を元気に！賞」の募集と併せる。内容は成安造形大の加藤さん中心に練る。

その4) 「2012 文化で滋賀を元気に！賞」の実施 前回とほぼ同時期に実施する。(2011: 募集期間 9/8~11/8、6賞/88件、表彰式 2/11) トロフィーも、前回同様、成安造形大学・富樫名誉教授に作成依頼する。

その5) 会員特典として文化情報の発信 フォーラムニュースに会員の関係チラシを同封し送付することを試行的に行う。

その6) 第27回国民文化祭・とくしま2012視察 バス1台、定員40名くらいで募集、日帰りで行く。

藤野さんは細部に渡って報告でしたが、ここでは要約させていただきました。何となく、今年度の具体的な事業がわかっていただけたかと思います。次回、6月14日の会議ではさらに詳細案がワーキンググループから出てくると思います。この日の会議では、国民文化祭の滋賀開催を提案した滋賀経済同友会の中川代表幹事が文化・経済フォーラムの監事でもありますので、県に提出した提言書を基に説明してもらいました。文化で地域を元気づけ、町を起こすという経済同友会の提言と文化・経済フォーラム滋賀の方向性、ぴったりであり、より協調できればと思いました。

入会者数は現在、・個人148・団体36・法人52の 計236です。

久しぶりの報告、肩がまだ温まっていない感じで、このあたりにします。それと、お知らせですが、小学館発行のサライ6月号は「知られざる<琵琶湖路>」の特集です。木村至宏代表幹事が旅の巻頭言の項で、近江の魅力を語っておられます。顔写真、お若いです。いま、各書店で販売中です。680円です。毎日、新聞を繰っていますと、会員の皆様もよく紙面登場されていますが、ワーキンググループの成安造形大の加藤賢治さんが5月14日付け京都新聞地域総合面、湖国探研シリーズ16回目に登場です。近江に伝わる宗教民俗の調査についての記事でした。ポーズ写真、いい顔でした。

